



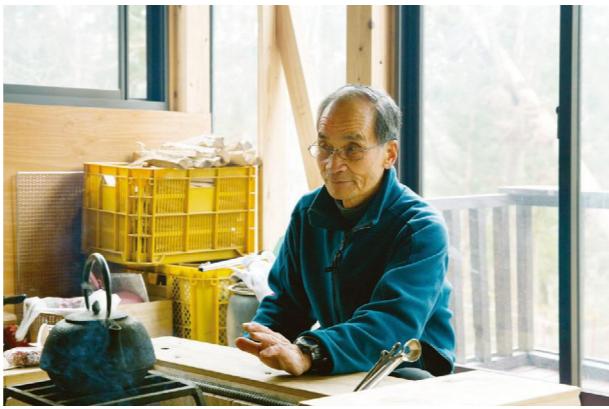
プレイフォレスト
遊びの森キャンプ場

群馬県前橋市柏川町室沢

前橋市柏川町にある木の実幼稚園が教育活動の一環として運営する森の中の遊び場。広大な敷地の中には、自然の地形と樹木を利用したアスレチック施設、焚き火場やクラフトコーナーなど、親子で自然体験ができる施設が充実している。あえて禁止事項を設けず、子どもたちが自分で考え遊ぶことを促す。毎月第2・第4日曜日に開放している。



手作りのボルダリング小屋で遊ぶ太朗くん。のびのびとした環境で、子どもたちは自分で考えながら楽しみを見つけていく。

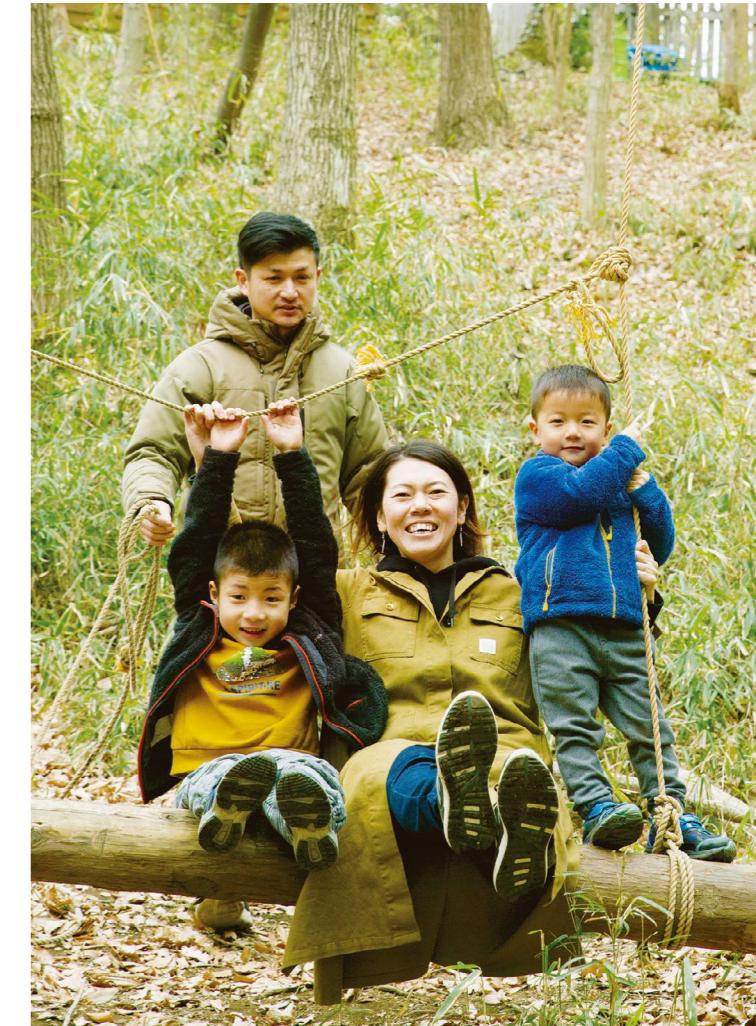


囲炉裏小屋でくつろぐ岳彦さんの父・務さん。この山の家は、登山家でもある務さんのDIY精神の結晶ともいえる場所だ。

赤城山の susono で暮らす

5

島田岳彦さん家族



赤城山の南面を麓へと流れる柏川。その名前の由来は、室町時代からこの地域に伝わる伝行事で白酒を川に流す神事にちなんだものと言われる。その柏川に沿って南北に広がるのが柏川町（旧・柏川村）。中でも中之沢地区は赤城山の中腹にあり、ナチュラルチーズを製造する酪農家の「スリー・ブラン」や、私設美術館である「中之沢美術館」などが点在するなどのかなエリアだ。平日は前橋市内の平野部にある自宅から都心へ通い、週末はこのエリアにある別邸で過ごすという島田岳彦さん一家を訪ね、前橋駅から車を走らせること40分程。高原の別荘地の

岳彦「もともと地元が前橋なんですが、群馬を離れて京都の大学に進学して、卒業後は川崎の会社に就職しました。その後父親がこの場所に別宅を作り始めて、

『自分たちは将来的にはこっちに移住するから実家のほうに住まないか』と言われていたんです。両親の年齢的などともあって、最終的には完全に引っ越すのではなく、両親のために実家の隣にもう一軒家を建ててそこに住むことになりました。

岳彦「今の職場は新宿で、ゲーム制作会社でキャラクターや背景のデザインをしています。新幹線で通勤していますが、自宅からは2時間ちょっとですね。10年くらいこの通勤スタイルなのでもう慣れました。プライベートの時間が強制的に確保できるので、本を読んだり動画を見たり、ゲームを楽しんだりしています。

少し長めの通勤時間が オンとオフを切り替えてくれる

家族で作る、 親子三代の憩いの場。

岳彦さんの父の務さんが20年ほど前にこの一帯の土地を購入。知り合いの業者の助けを借りて森を切り開き、家を建てたという。母屋の完成後、ゲストハウス、薪書斎、囲炉裏小屋と、敷地内の建物は徐々に増えています。現在では4棟の居住空間に加え、クライミングルーム、薪小屋、ガレージが建っている。

